

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2014 年 3 月

ISO/TC61(プラスチック)第 62 回年次国際会議開催

1. はじめに

第 62 回 ISO/TC61 国際会議が、2013 年 9 月 9 日～13 日の 5 日間にわたり、中国・蘇州市の Suzhou International Conference Center (写真 1)にて開催された。

この会議には 20 カ国から約 200 名が参加し、日本からは宮入団長(東京医科歯科大学名誉教授)をはじめ 70 名が参加した。これは、参加国中 2 番目でトップは開催国の中国で、次回開催国の米国が 16 で 3 番目。英国、ドイツがともに 13 名の順で、TMB メンバーで占められたが、6 番目は 10 名参加のタイ、7 番目は 7 名参加の韓国で、フランスはイタリアと同じ 4 名参加と TMB 常任メンバーとしては少数で 8 番目であった。日本の 70 名の参加は開発中アイテムの約 4 割を日本提案で占められていることからそれもうなずけるが、産業界からの参加者が多いことは他の国と異なる点で、我が国の産業界の規格への取り組み姿勢の高さが伺える。



写真 1 Suzhou International Conference Center

2.TC61 の構成・活動状況

ISO/TC61 には、表 1 に示すように 10 の SC で構成されている。現在登録されている WG は 59 でその内 56 の WG が各 SC の元で活動している。

表 1 TC61 の構成 (TC61: 幹事国 CN , 議長 DE)

SC	幹事国	議長	タイトル	活動中 WG 数
SC 1	GB	US	用語	2
SC 2	ES	ES	機械的性質	8
SC 4	GB	GB	燃焼挙動	4
SC 5	DE	CH	物理・化学的性質	6
SC 6	DE	DE	耐老化, 薬品, 環境性	3
SC 9	KP	US	熱可塑性プラスチック	14
SC10	CA	CA	発泡プラスチック	6
SC11	JP	JP	製品	7
SC12	JP	JP	熱硬化性材料	4
SC13	JP	JP	複合材料及び強化繊維	2

US:アメリカ, CN:中国, GB:英国, ES:スペイン, DE:ドイツ, JP:日本

幹事国は中国、議長国はドイツであり、参加 P-メンバーは 32 カ国で O-メンバーは 37 である。保有規格数は 630 あり、現在 111 件の規格が開発中である。日本は 10 ある SC のうち 3 つの SC の国際議長および国際幹事を受け持ち、代行を含めたコンベナー 9 名、プロジェクトリーダー 24 名 (コンベナー兼務 4 名) が各 WG で活躍している。議長はつぎの通りである。

・ISO/TC61/SC11 および SC12

三甲株式会社 末松征比古氏

・ISO/TC61/SC13

名古屋大学 石川隆司氏

3. 会議概要

会議は 9 月 17 日 (月) から開催され、10 の SC に所属する活動中 56 の WG の内、42 の WG が会議を開催した。そこでは、各開発中の規格を中心にその課題を審議し決議をとり、WG を統括する各 SC の PLenary 会議では WG 決議事項の承認を取るが、今回の会議で日本提案のいくつかは CD 段階をカットし直接 DIS への進捗が承認される等、質の高さで目を見張るものがあった。

リーダ会議では、ISO 中央事務局より Directives 変更の紹介があり、今後の開催地について、次回 20'14 年は米国ハワイで 9 月 22 日から 26 日の 5 日の予定、'以降は 15 年は英国で調整中、'16 年はドイツ、17 年は南アフリカが候補にあがっていることが発表された。

最終日には、TC61 Plenary 会議が開催され、そこでは全決議の承認が行われ、次回開催国の米国からは代表によるハワイ開催が紹介された。

4. 今後の取組

この会議には毎年日本から多くの専門家が参加しているが、今年も約 200 名の参加のうち日本から 70 名が参加し日本の存在感を示している。アジアにおいて、韓国、中国の積極参加の姿勢は明白で、これらは産業界に大きな影響を与えることを考えると、これまで築いてきた人脈も活用し ISO/TC61 での日本の存在感を維持し質の高い提案を行っていく必要があると考える。

以上